

貧困状態の子供への対策in日本

鹿本高校1年 江藤 英義 古江 優弥 本多 由奈 上田 彩莉

要旨

この調査は、貧困状態の子供への対策の研究です。1学年全体に子どもの貧困についてのアンケート調査を行いました。その結果、知っていると答えた人は60%、知らないと答えた人は40%でした。本研究から、私達ができる対策としてお金・物の寄付、ボランティア活動などの支援などがありました。

研究背景

私達は今SDGsについて学んでいます。

SDGsとは、「**持続可能な開発目標**」

その中に子どもの貧困という課題がありました。最近よくニュースで見られるようになり、そこでなぜ子どもの貧困が起きているのかについて気になったので調べてみようと思いました。

研究方法

1. インターネットで検索して日本の子供の貧困や対策について調べる。
2. 一学年にアンケート調査する。

結果・考察

(1)「子どもの貧困」現状

日本の子どもの貧困率は今、OECD加盟国の中で最悪の水準にある。子どもの貧困率は、1980年代から上昇傾向にあり、今日では実に7人に1人の子どもが貧困状態にあるとされています。

(2)「子どもの貧困」問題

主な例

経済格差

親の所得額が少ないことから子供に使うことのできるお金が減ってしまい、これが原因で教育にかけられるお金が不十分であったり、子供に十分な食事を与えられないという状況が生まれています。 など。

・子供の貧困の影響

→貧困が及ぼす影響は、餓死や栄養失調・感染症など様々ありますが、健康被害にとどまらず「**教育格差**」「**医療格差**」「**性差別**」といった問題も生じています。

(3)問題を解決するためにどのような取り組みが行われてきたか

- ①政府が取り組んでいる支援
教育支援 経済支援 就労支援
- ②民間が取り組んでいる支援
生活支援

(4)私達ができること

ボランティア活動

例:

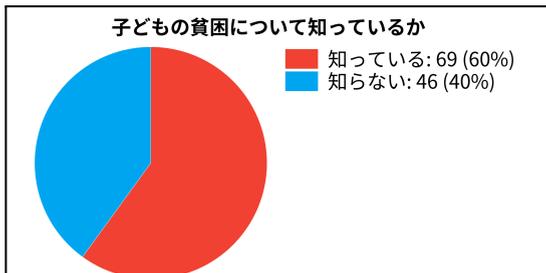
ボランティア活動には炊き出し、貧困問題を伝えるための講演会、子どもとの自然体験活動など幅広い取り組み

寄付活動

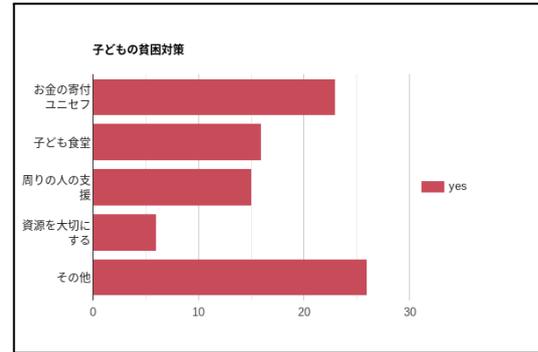
例: お金や着られなくなった服など

(5)アンケート

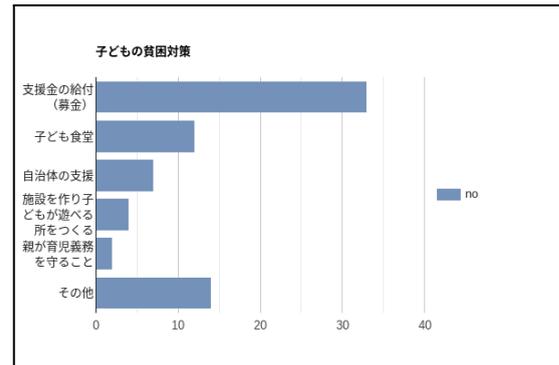
鹿本高校の一年生にアンケートした結果



知っているとした人



知らないとした人



感想

- ・みんなが不自由なくらせる社会になって欲しい
- ・自分にもできることをしたい など

今後の展望

日本の子供の貧困を解決するために行われている対策は主に教育支援、経済支援、生活支援、就労支援などであることがわかりました。これからボランティア活動や寄付などをして少しでも子どもの貧困を減らしていき、そして当たり前に行っていることに感謝していきたいです。

引用文献・参考文献

Spaceship Earth

子どもの貧困とは？原因と日本の実態から考える私たちにできること・地域の取り組み事例 <https://spaceshipearth.jp/childpoverty/>

gooddo

子どもの貧困を解決するため、政府が行っている対策は？ https://gooddo.jp/magazine/poverty/children_proverty/108/

gooddo

SDGsの目標1「貧困をなくそう」で解決すべき問題や世界の現状とは https://gooddo.jp/magazine/sdgs_2030/no_poverty_sdgs/4688/

gooddo

子どもの貧困を解決するため、政府が行っている対策は？ https://gooddo.jp/magazine/poverty/children_proverty/108/

gooddo

貧困家庭の子どものために私たちができるボランティア活動とは？ https://gooddo.jp/magazine/poverty/children_proverty/77/